

海上公園を中心とした水と緑のあり方 について

— 資 料 編 —

- 目次 -

1	海上公園の概要	2
	(1) 海上公園の種類	2
	(2) 東京都海上公園構想	2
	(3) 海上公園事業の経過	3
2	臨海地域を取り巻く状況	4
	(1) 水と緑の分布	4
	(2) 埋立開発の進行	5
	(3) 土地利用の変遷	6
	(4) 観光施設の分布	8
	(5) 運河ルネサンスの取組状況	10
	(6) 協働事業の現状	11
	[参考] 東京港第8次改訂港湾計画のゾーニング	12
3	海上公園に対する認識	13
4	意見募集結果	23
	(1) 意見募集の概要	23
	(2) 意見募集に寄せられた主な意見	25
5	審議会関係資料	32
6	用語集	33

1 海上公園の概要

(1) 海上公園の種類

- ・海上公園は、東京都海上公園条例第3条により、次の3種類に分けられる。

種類	
海浜公園	主として、水域における自然環境の保全及び回復を図るとともに、水に親しむ場所として都民の利用に供することを目的とする公園
ふ頭公園	主として、ふ頭内の環境の整備を図るとともに、みなとの景観に親しむ場所として都民の利用に供することを目的とする公園
緑道公園	主として、臨海地域における自然環境の回復を図るとともに、緑に親しむ場所として都民の利用に供し、あわせて海上公園の一体的な利用を促進することを目的とする公園

(2) 東京都海上公園構想 (昭和45年策定)

- ・現在都民は、深刻な公害や都市過密の中での生活を余儀なくされているが、これら限度を超えた環境破壊の現況にもって、東京の東南部に位置し、区部のほぼ三分一の面積を有する葛西沖から羽田沖までの海域は、都民と自然とのふれ合いの場として利用し、保存する配慮がなければならない。
- ・この構想は、このような認識と反省のもとに、従来計画されている近隣公園のほか、都民のための海上公園を体系的に整備しようとしてとりまとめたものである。

(海上公園構想「まえがき」より抜粋)

◆海上公園の基本的な考え方

- ①海の都民への開放は、葛西沖から羽田沖までの海面全域にわたる一体的な構想のもとにすすめる
- ②海—海浜(港)—陸上と続く一連のレクリエーションスペースの中で、青少年や老人、婦人など都民のさまざまなレクリエーション活動が有意義に行われるよう施設は効率的、重層的に組み合わせ配置する
- ③これらの具体化にあたっては、都民の参加を得てよりユニークなアイデアを投入するとともに、公園施設の運営管理には、都民の知識、経験を積極的に活用する

(3) 海上公園事業の経過

- ・海上公園についてはこれまで、下表のとおり審議会に諮問を行い、答申を受けている。

答申時期	主な審議内容
昭和 52 年 10 月	管理運営のあり方の見直し ・公益法人による管理運営 ・ボランティアによる運営参加
昭和 56 年 4 月	海上公園整備における基本方針を明示 ・干潟や浅瀬等の整備による生物生息環境の保全 ・スポーツ及びレクリエーションへの対応
平成 14 年 2 月	①中央防波堤内側の公園整備 ②利用規制の緩和 ・ドッグラン、スケートボード場等の導入 ・海釣り、バーベキューエリアを拡大
平成 17 年 2 月	①海の森構想 ②都区の役割分担のあり方の明示

- ・海上公園事業は着々と整備が進められ、平成 27 年 4 月 1 日現在で、海上公園の開園面積は約 790.4ha（水域 477.7ha）に達し、計画決定面積 967.9ha に対して 81.7%の進捗率となっている。

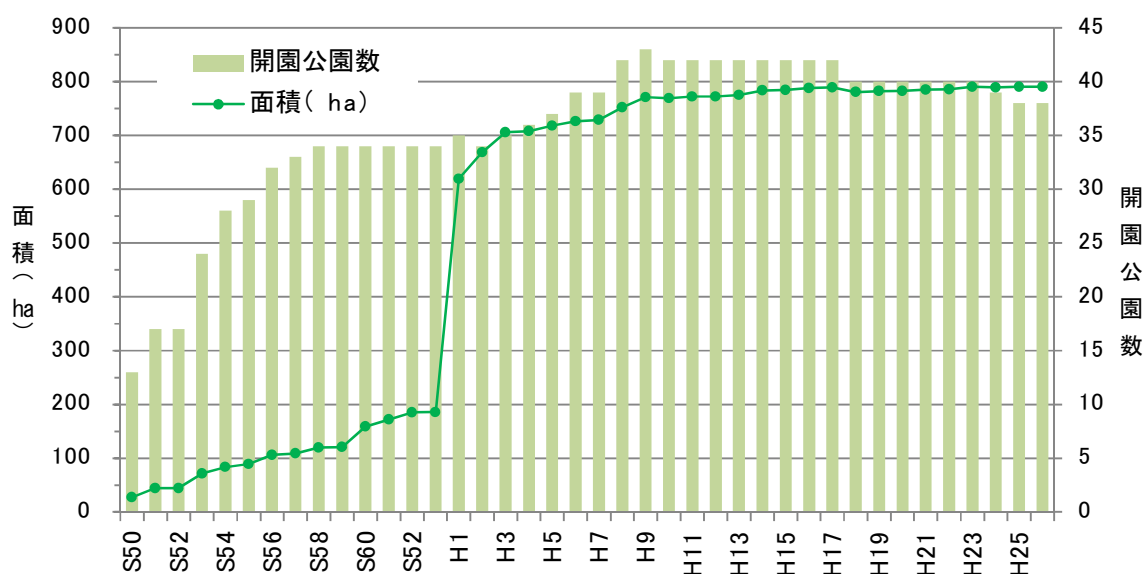


図 海上公園の開園公園数、開園面積の推移

※公園数減は、区移管に伴うもの

2 臨海地域を取り巻く状況

(1) 水と緑の分布



図 臨海地域の水と緑の分布

出典：都市計画地理情報（H25）、みどり・緑被データ（H25）

(2) 埋立開発の進行

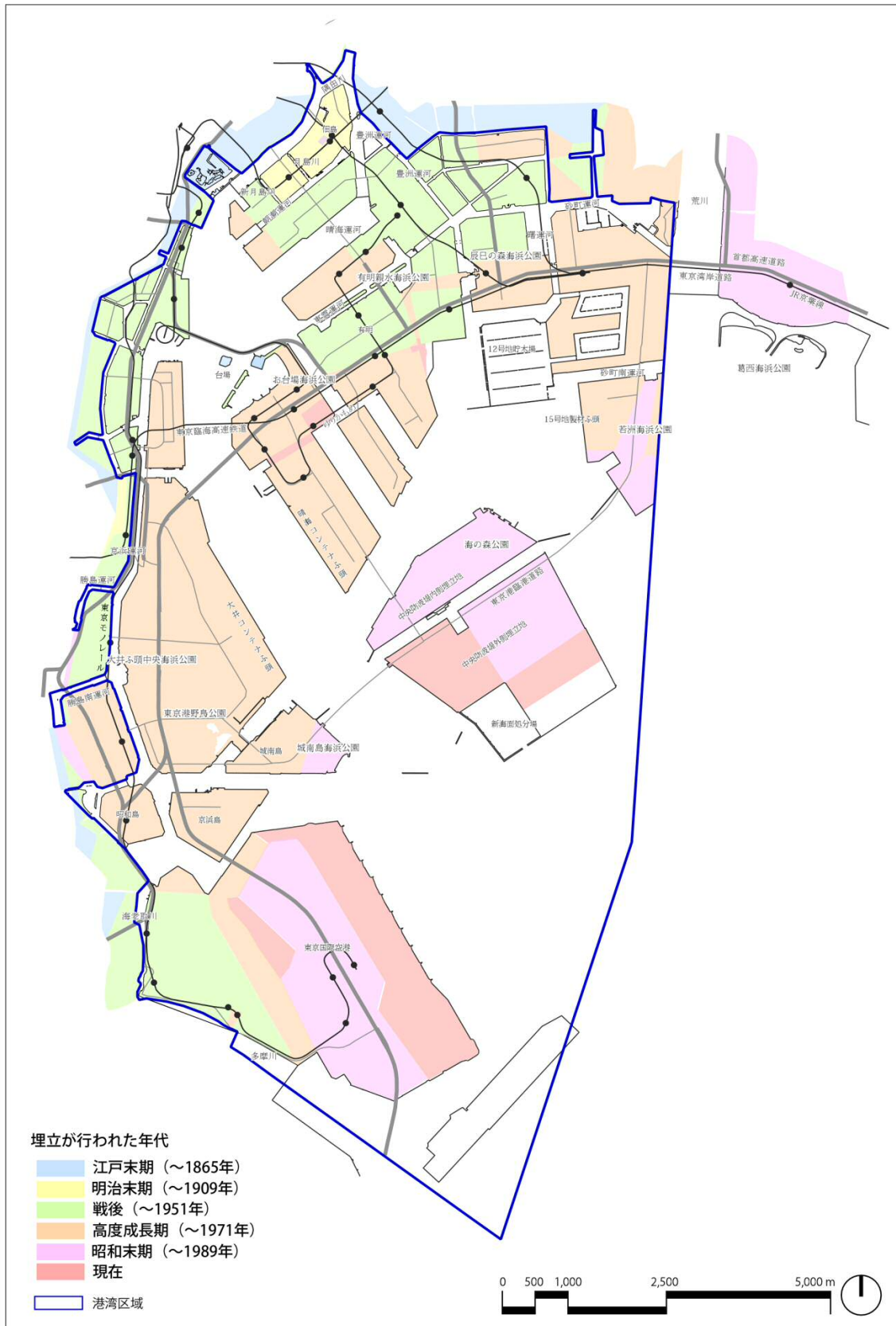


図 東京港の埋立が行われた年代

出典：国土交通省・関東地方整備局「東京港の変遷」

(3) 土地利用の変遷

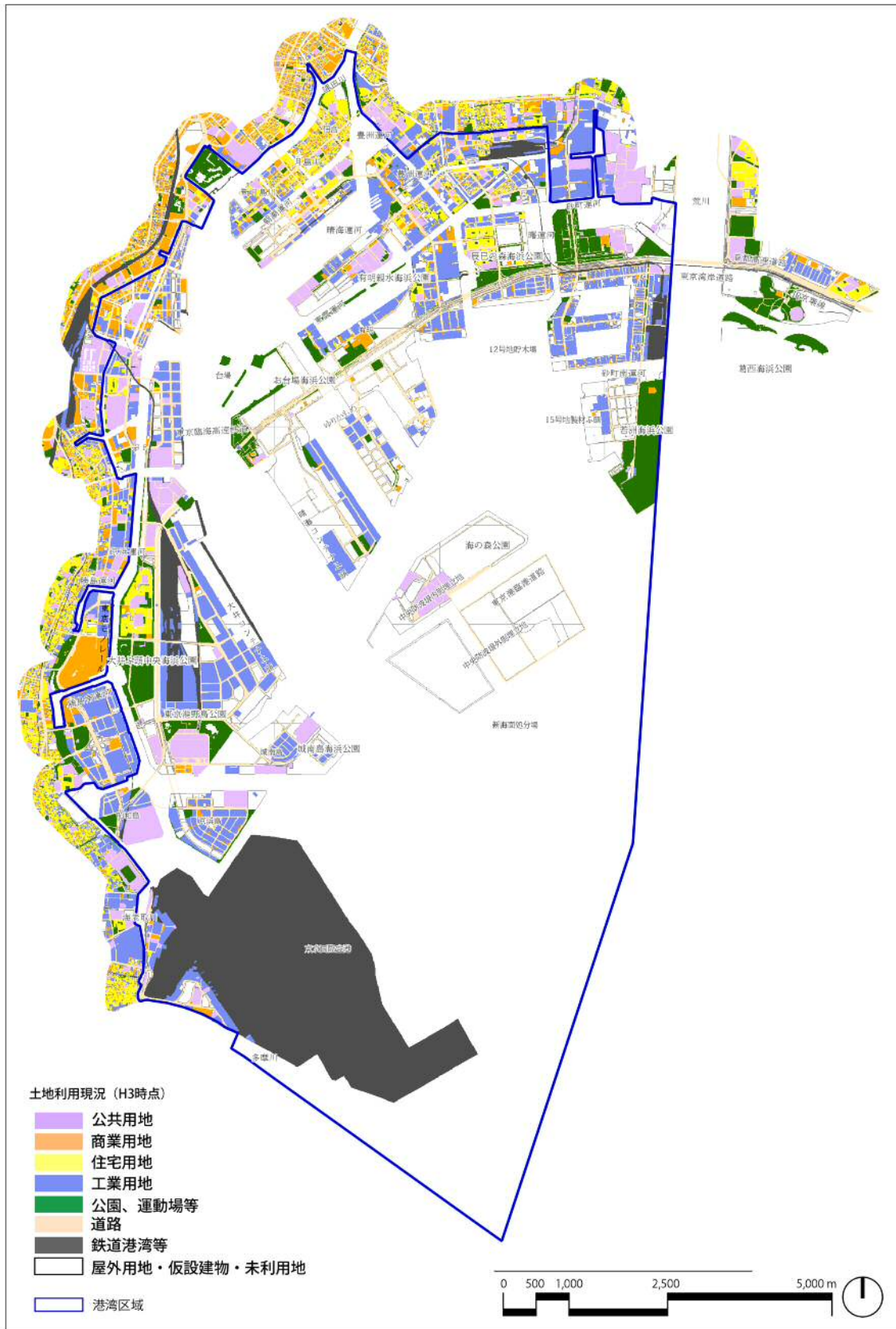


図 H3 土地利用

出典：都市計画地理情報 (H25)

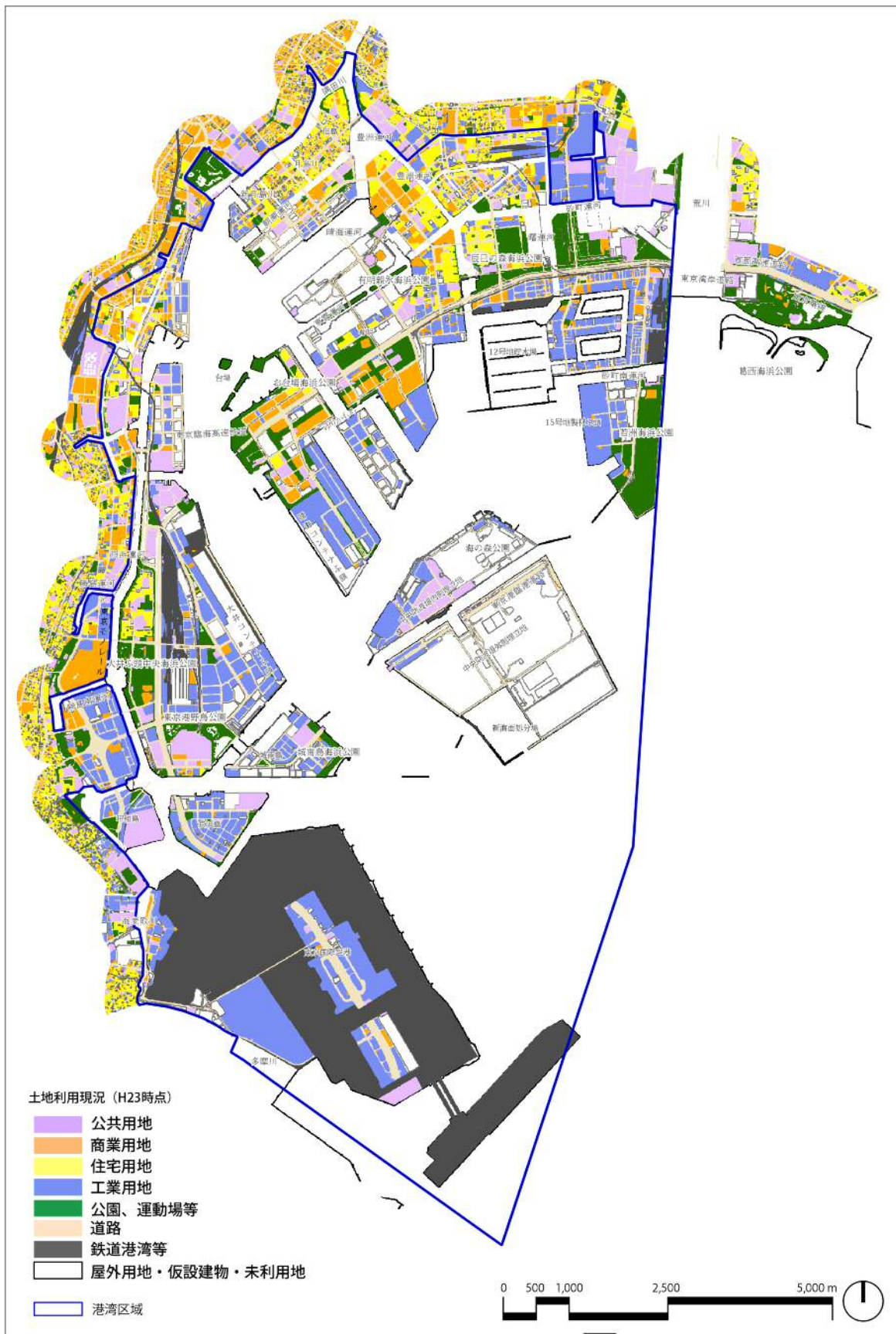


図 H23 土地利用

出典：都市計画地理情報 (H25)

(4) 観光施設の分布

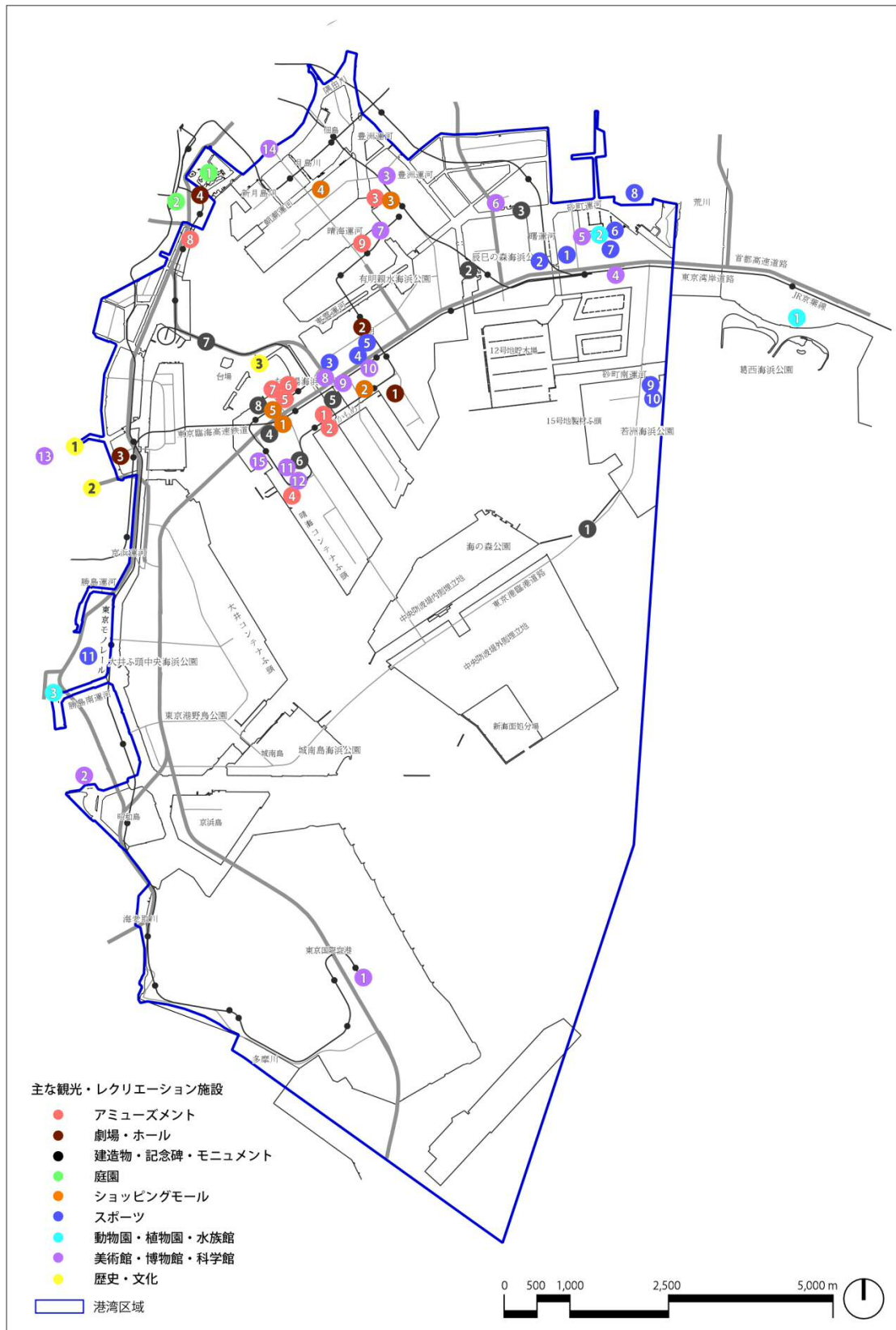


図 主な観光・レクリエーション施設の分布

出典：公益財団法人 東京観光財団「東京ハンディガイド」、
各区観光協会 HP をもとに作成

表 臨海地域の主な観光・レクリエーション施設

属性	No	名称	属性	No	名称
アミューズメント	1	パレットタウン	スポーツ	1	夢の島競技場
	2	大観覧車		2	東京辰巳国際水泳場
	3	キッザニア東京		3	有明スポーツセンター
	4	大江戸温泉物語		4	有明テニスの森公園
	5	マダム・タッソー東京		5	有明コロシウム
	6	東京ジョイポリス		6	東京夢の島マリーナ
	7	レゴランド・ディスカバリー・センター東京		7	BumB東京スポーツ文化館
	8	レストランシップ・シンフォニー		8	新砂運動場
	9	WILDMAGIC		9	若洲海浜公園ヨット訓練所
劇場・ホール	1	東京国際展示場		10	若洲ゴルフリンクス
	2	ディファ有明		11	大井競馬場
	3	テラトリア	動物園・植物園・水族館	1	葛西臨海水族園
	4	劇団四季・四季劇場	2	夢の島熱帯植物館	
建造物・記念碑・モニュメント	1	東京ゲートブリッジ	3	しながわ水族館	
	2	辰巳桜橋	美術館・博物館・科学館	1	羽田空港ディスカバリーミュージアム
	3	漣橋		2	大森海苔のふるさと館
	4	自由の炎像		3	石川島資料館
	5	夢の大橋		4	木材・合板博物館
	6	フジテレビ本社ビル		5	第五福竜丸展示館
	7	レインボーブリッジ		6	江東区環境学習情報館 えこっくる江東
	8	自由の女神像		7	ガスの科学館 がすてなーに
庭園	1	浜離宮恩賜庭園		8	東京都虹の下水道館
	2	旧芝離宮恩賜庭園		9	東京都水の科学館
ショッピングモール	1	ダイバーシティ東京 プラザ		10	パナソニック・デジタル・ネットワーク・ミュージアム リスーピア
	2	東京ファッションタウン ワンザ有明ベイモール		11	日本科学未来館
	3	アーバンドック ららぽーと豊洲		12	東京みなと館
	4	晴海トリトンスクエア		13	原美術館
	5	アクアシティお台場		14	かちどき橋の資料館
歴史・文化	1	屋形船（品川浦）		15	船の科学館（休館中）
	2	東海道 品川宿			
	3	台場公園			

出典：公益財団法人 東京観光財団「東京ハンディガイド」、各区観光協会 HP をもとに作成

(5) 運河ルネサンスの取組状況

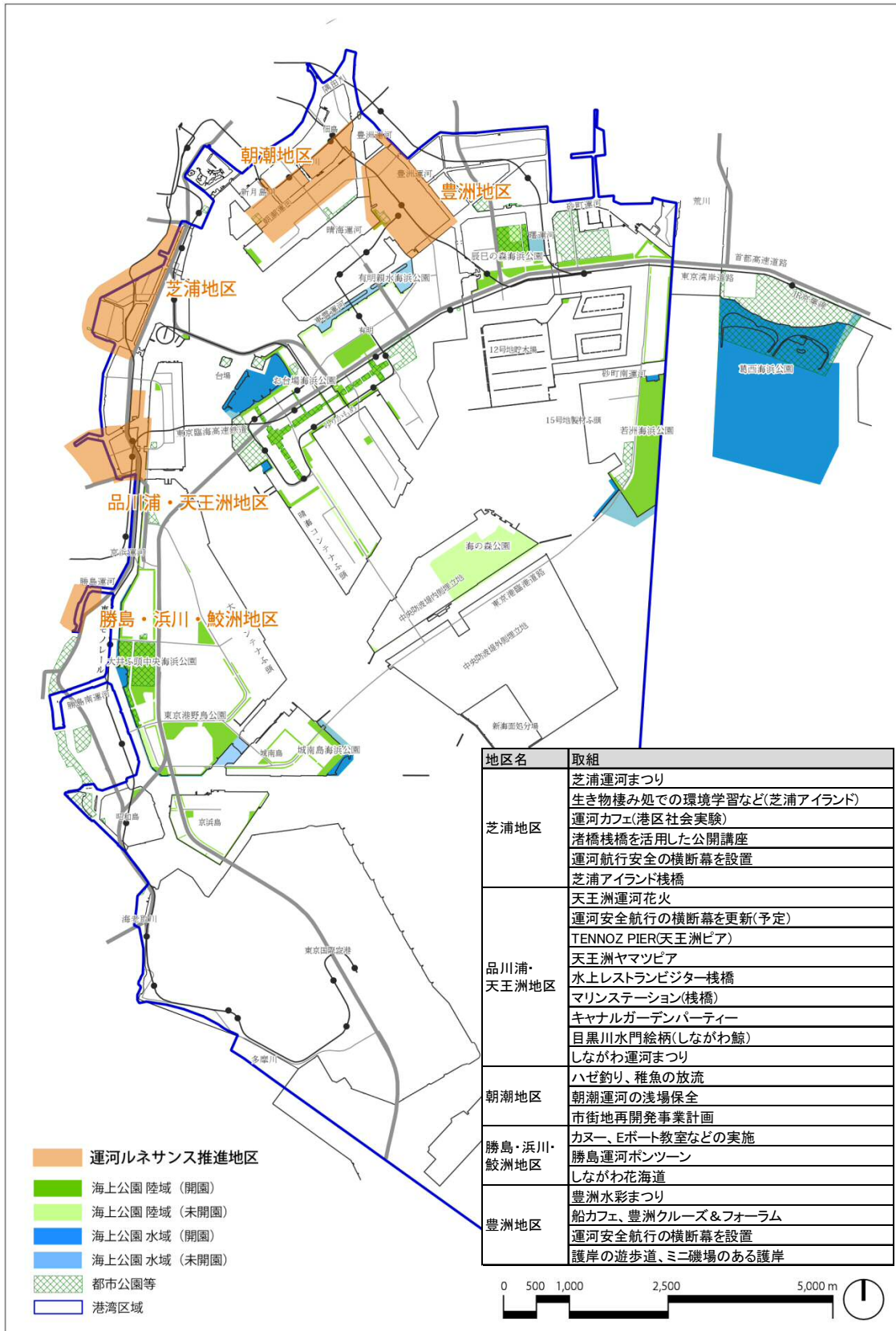


図 運河ルネサンスの取組の分布

(6) 協働事業の現状

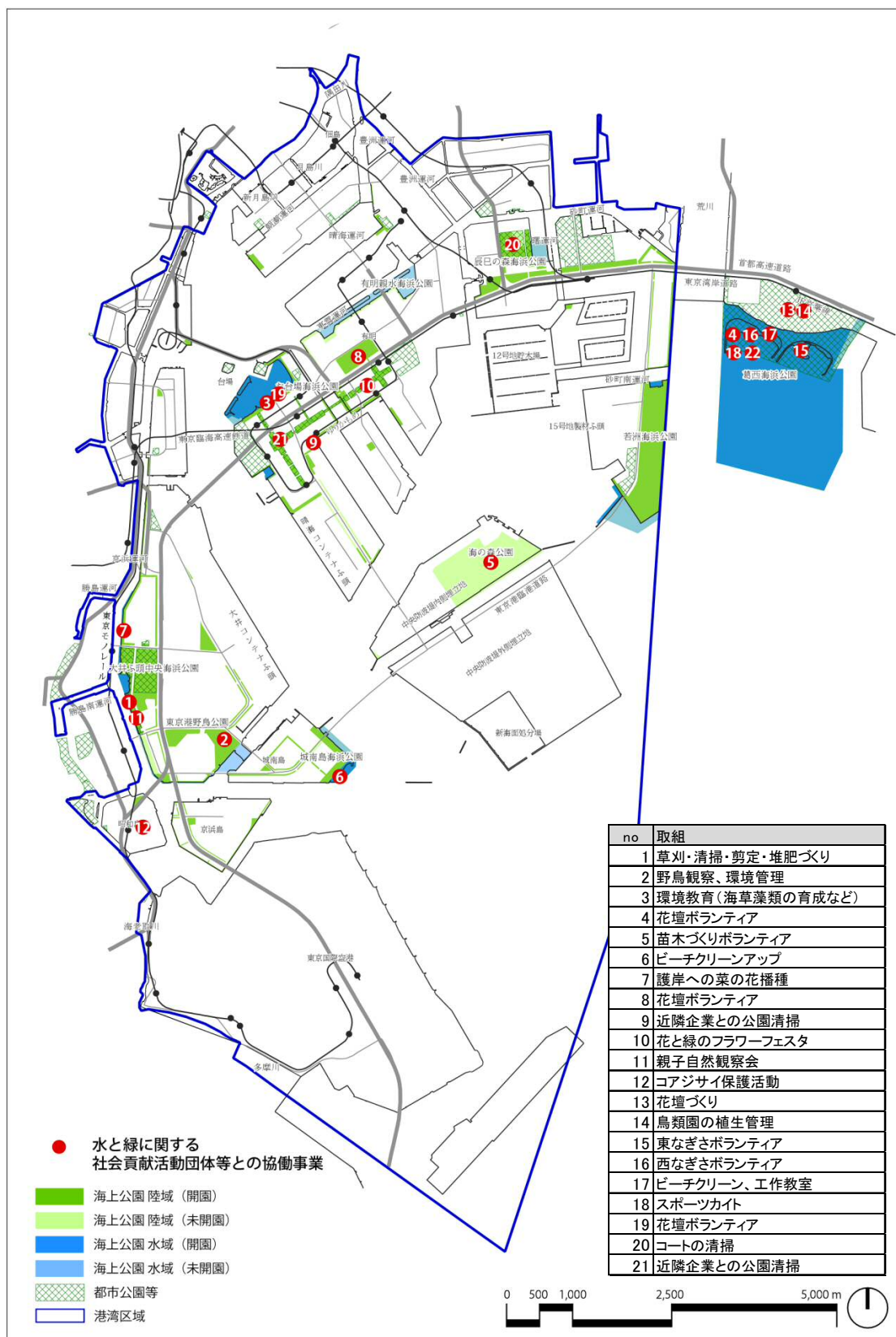


図 水と緑に関する社会貢献活動団体等との協働事業の分布

出典：平成 25 年度社会貢献活動団体等との協働事業調査

[参考] 東京港第8次改訂港湾計画のゾーニング

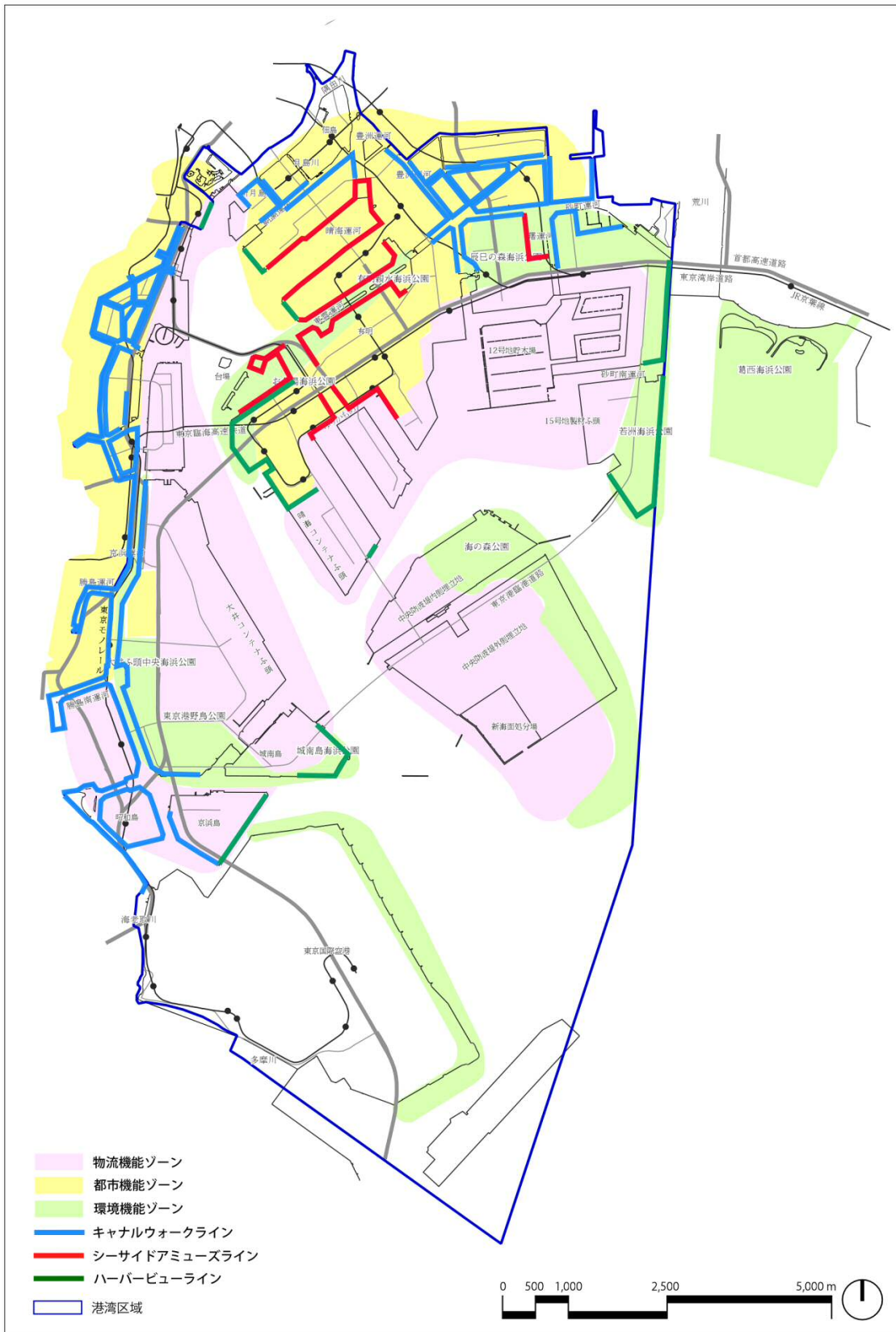


図 東京港第8次改訂港湾計画のゾーニング

出典：東京港第8次改訂港湾計画

3 海上公園に対する認識

～平成 25 年度第 5 回インターネット都政モニターアンケートより抜粋～

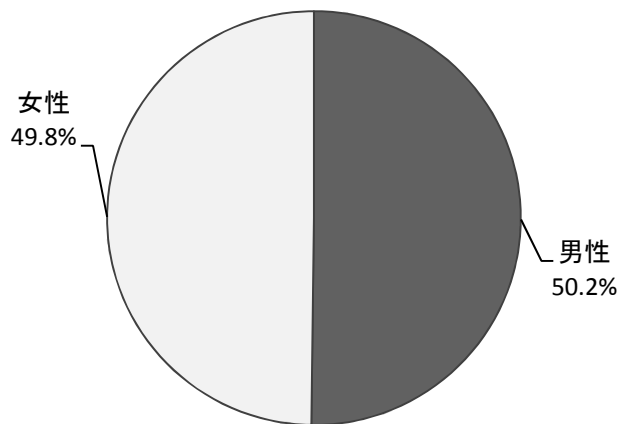
①実施概要

- ・インターネット都政モニターを対象に、海上公園のイメージや海上公園の認知度、望ましい海上公園にするために東京都に力を入れてほしいことなど「海上公園」について聞き、今後の都政運営の参考とするため、アンケートを実施した。

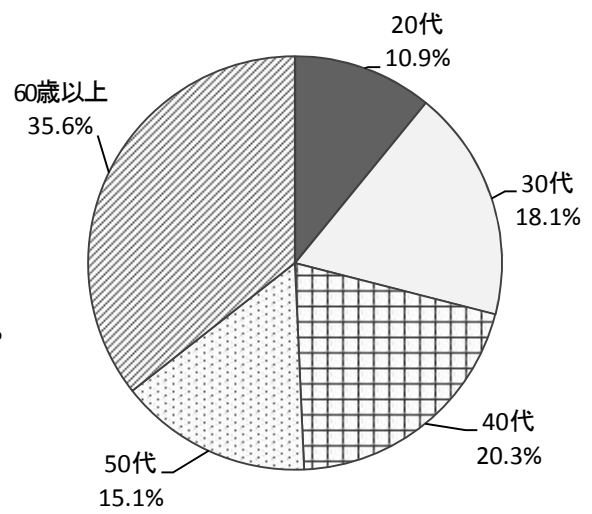
対象者	インターネット都政モニター
アンケート方法	インターネットを通じて、モニターがアンケート専用ホームページから回答を入力する
アンケート期間	平成 25 年 11 月 22 日（金曜）正午～平成 25 年 11 月 28 日（木曜）正午
標本数	500
回答者数	458
回答率	91.6%

②回答者属性

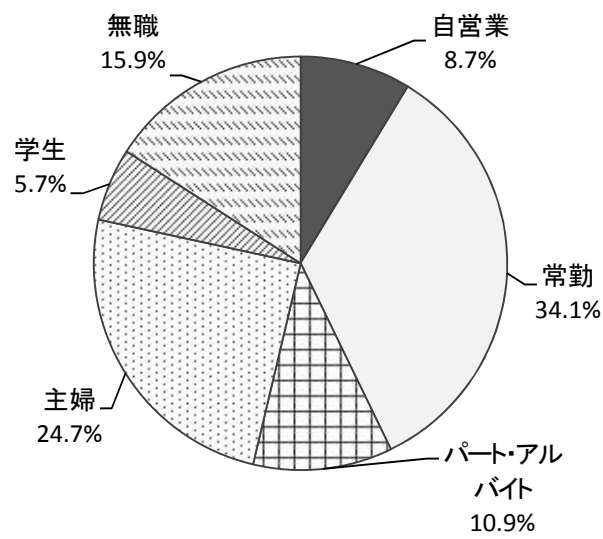
■性別 (n=458)



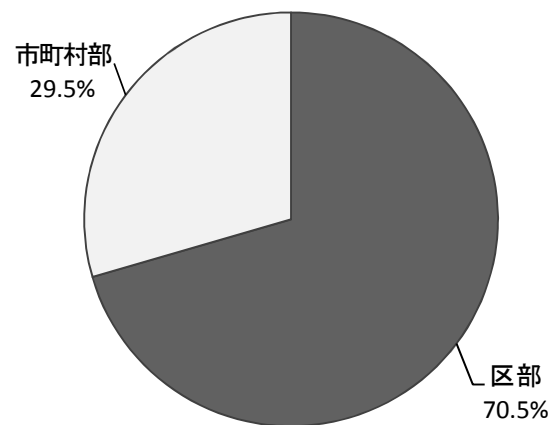
■年代別 (n=458)



■職業別 (n=458)



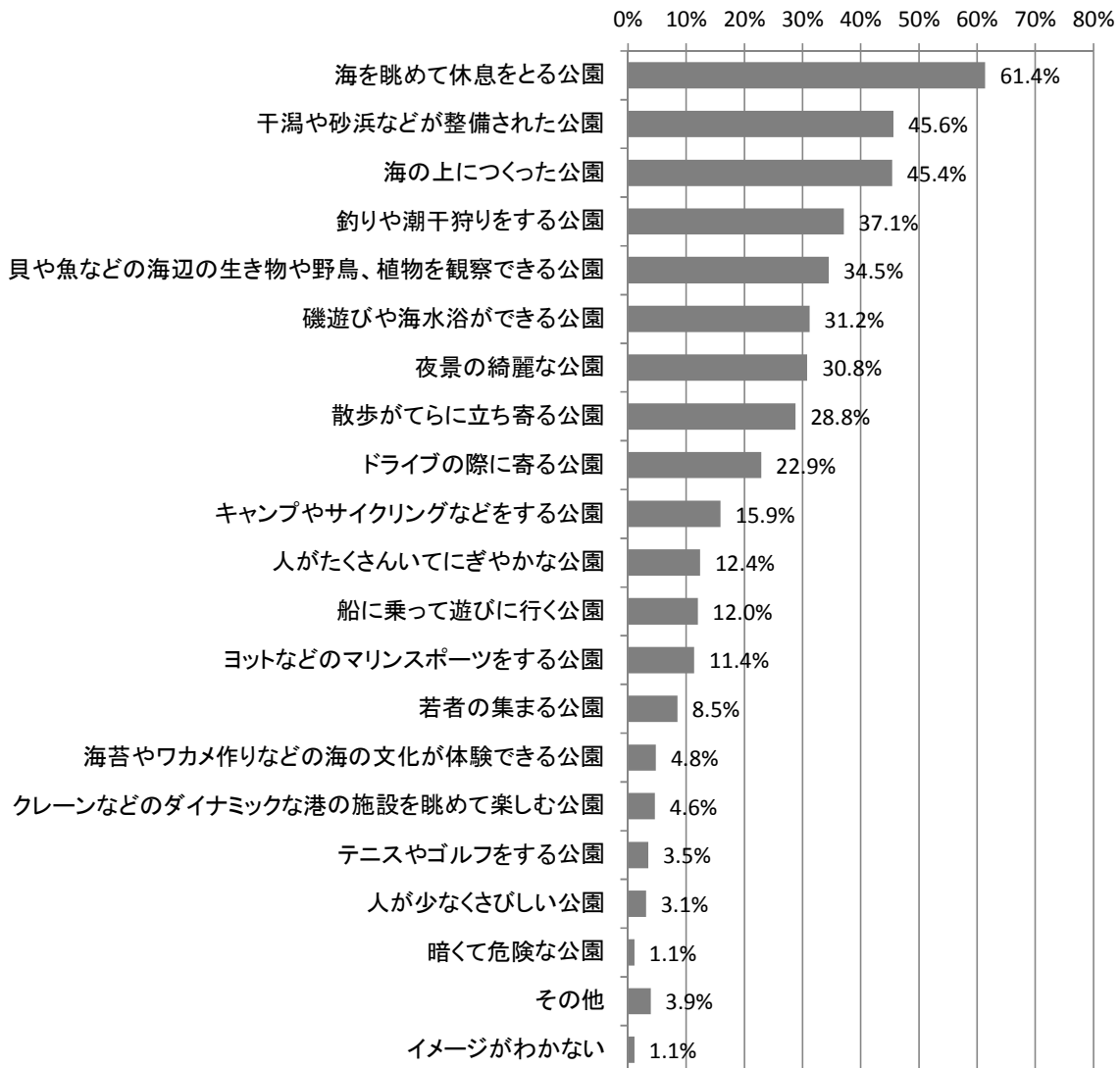
■居住地域別 (n=458)



③回答

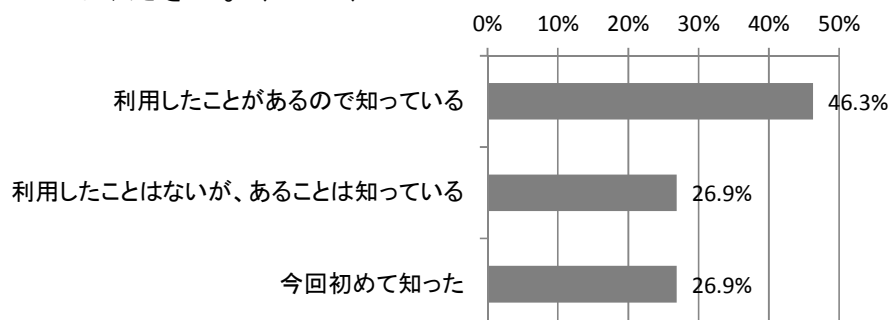
[1] 海上公園のイメージ

■問 あなたは、「海上公園」にどのようなイメージをお持ちですか。次の中から5つまで選んでください。(5つまで選択可) (n=458)



[2] 海上公園の認知度

■問 都内には海上公園として開園している公園が38か所あります。あなたは、都内に「海上公園」があることをご存知でしたか。次の中から1つだけ選んでください。(n=458)

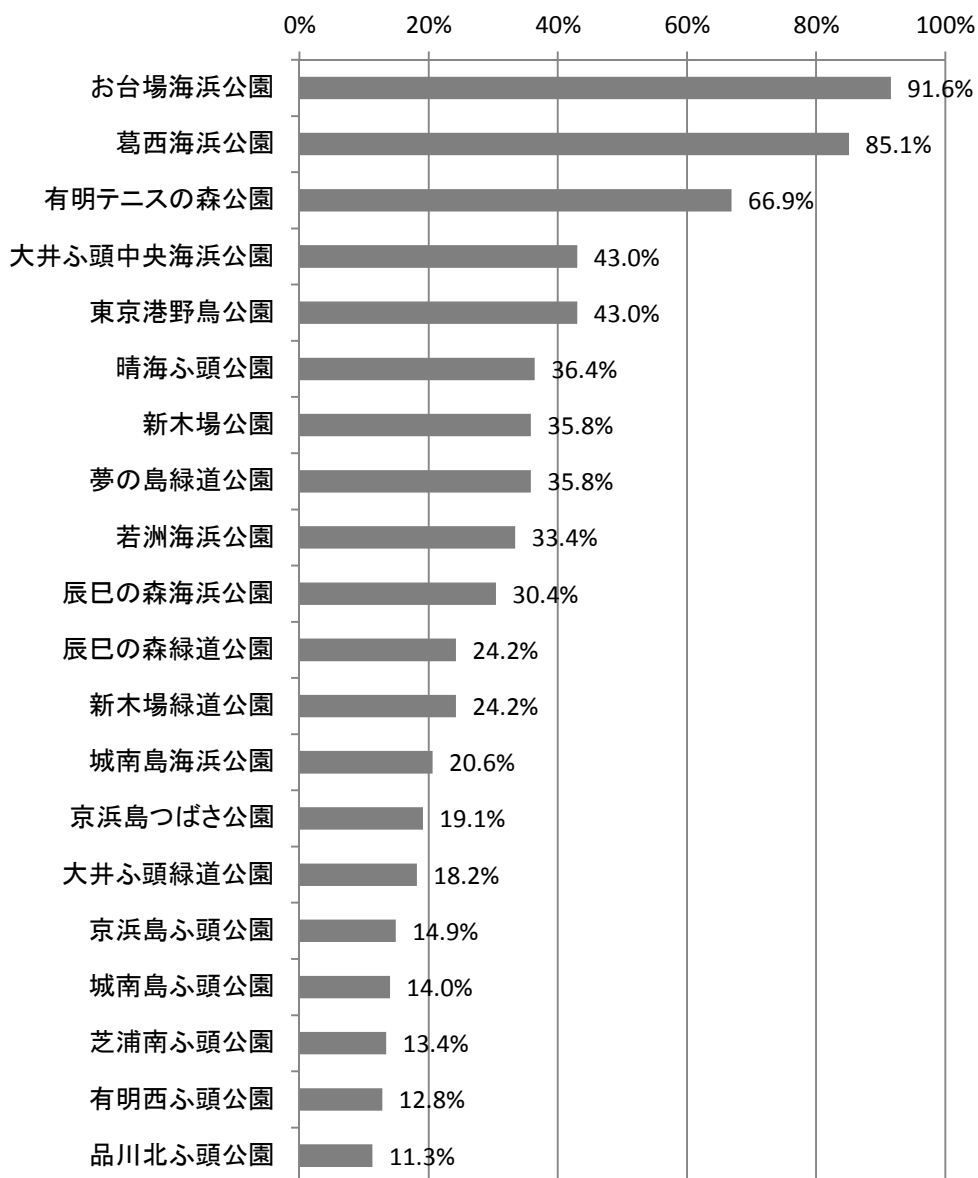


[3] 知っている海上公園

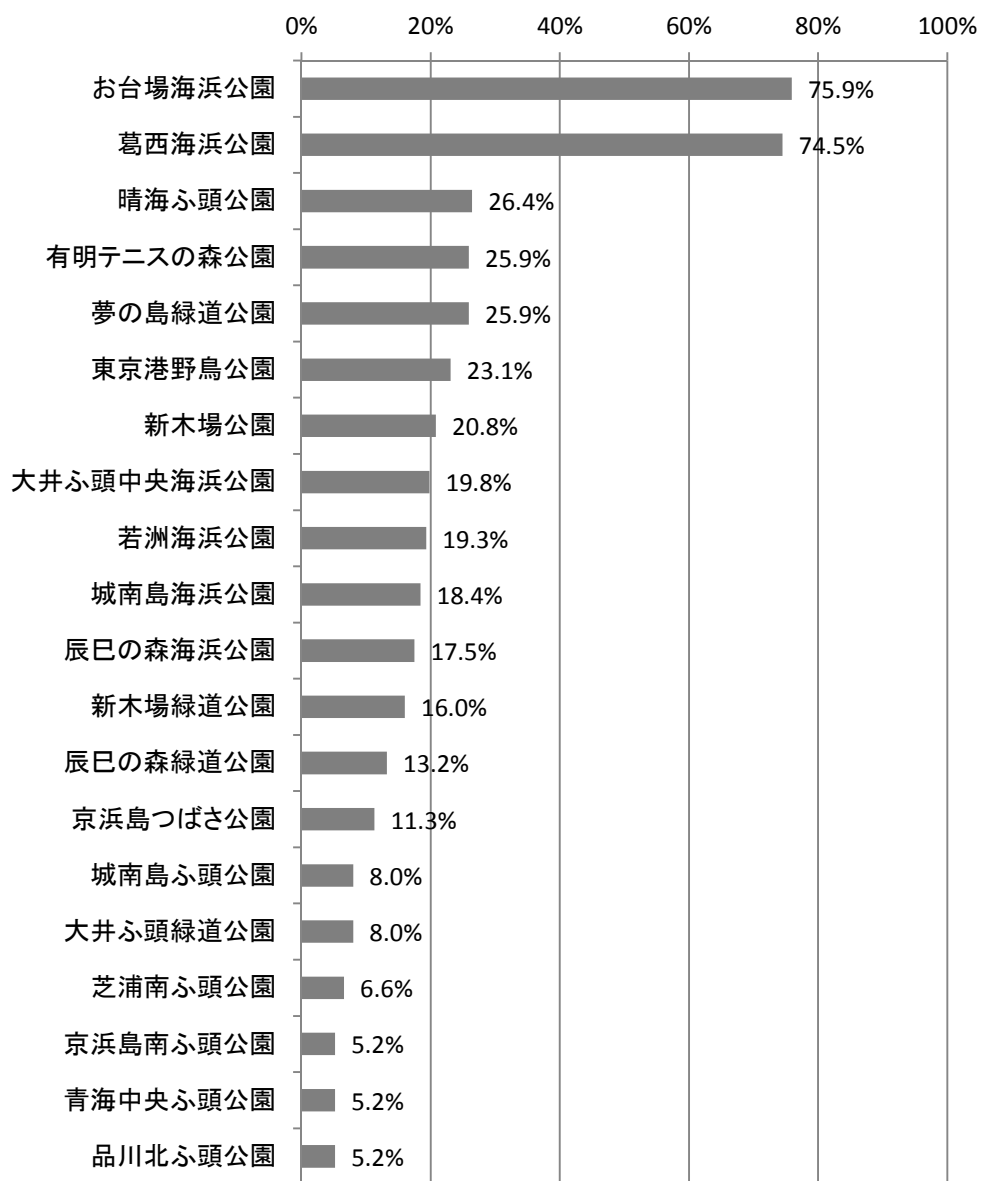
■問 (前問で「利用したことがあるので知っている」「利用したことはないが、あることは知っている」と答えた方に伺います。)「海上公園」には「海浜公園」「ふ頭公園」「緑道公園」の3つの種類があり、それぞれ次のような特色を持っています。それぞれの公園の中で、あなたが知っている公園、利用したことがある公園を次の中からすべて選んでください。

(複数選択可) (n=335)

《知っている海上公園 (上位 20 位まで)》

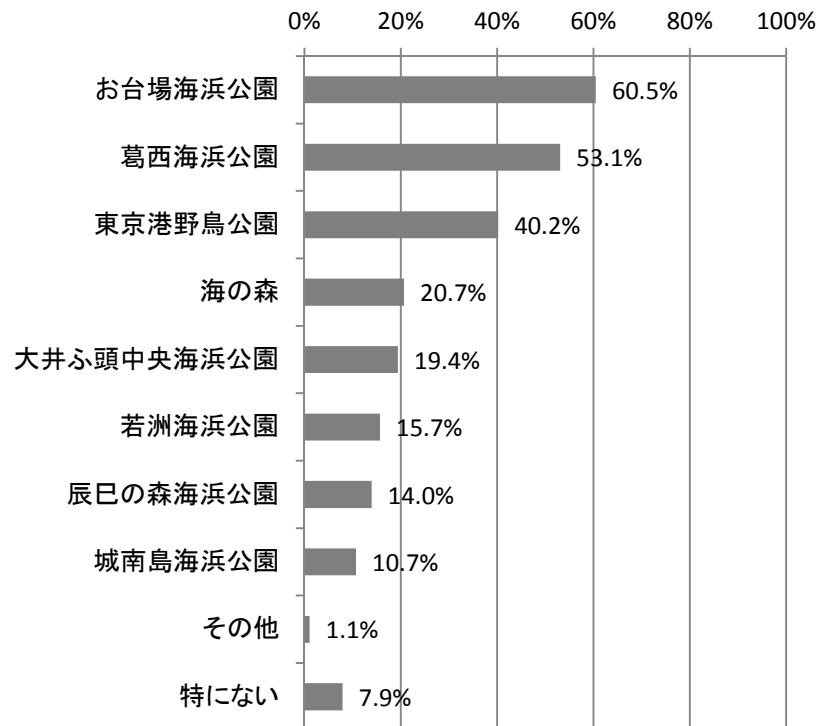


《利用したことがある海上公園（上位 20 位まで）》



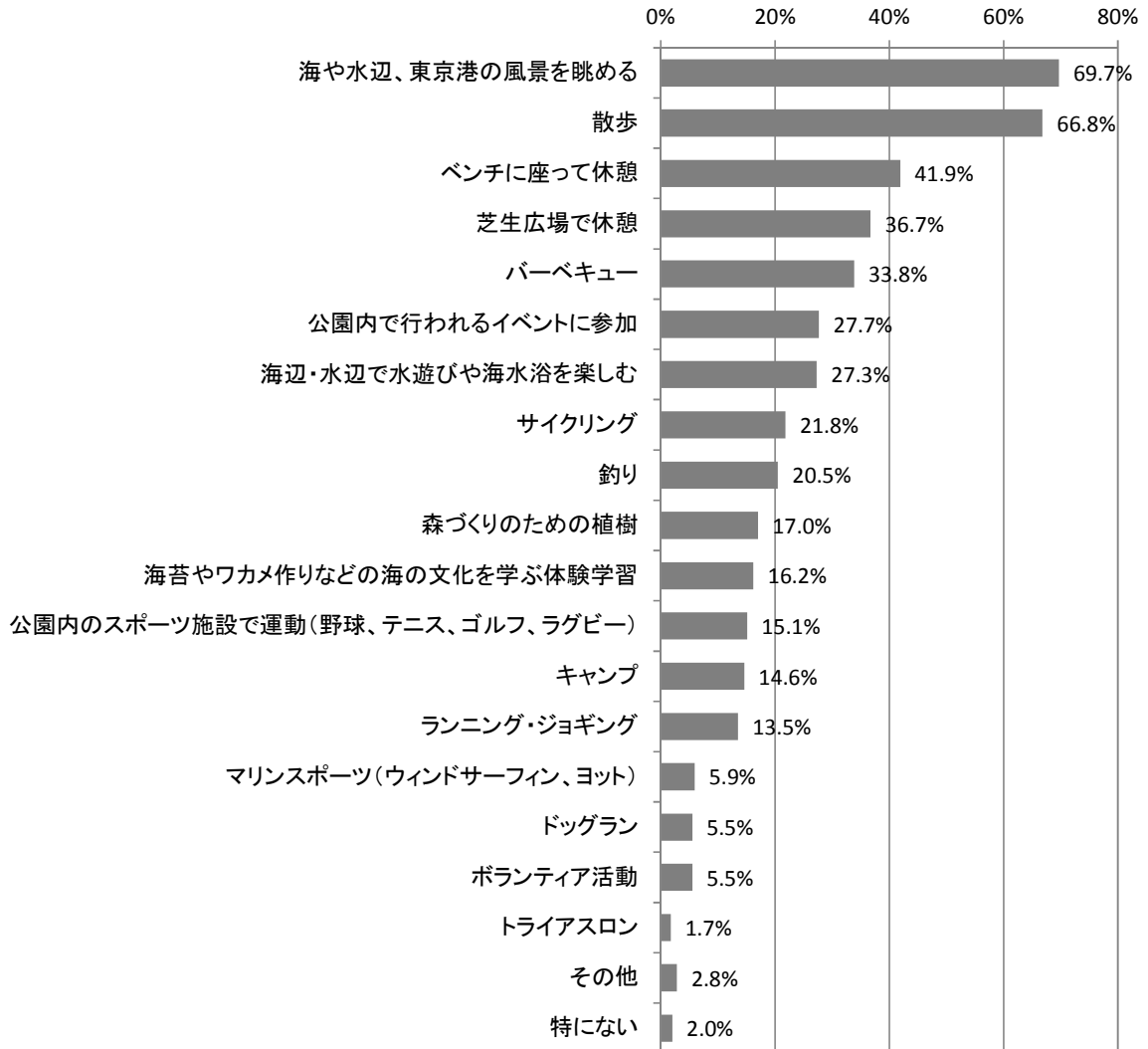
[4] 今後利用したい海上公園

■問 あなたが今後利用したい海上公園を次の中から3つまで選んでください。
(3つまで選択可) (n=458)



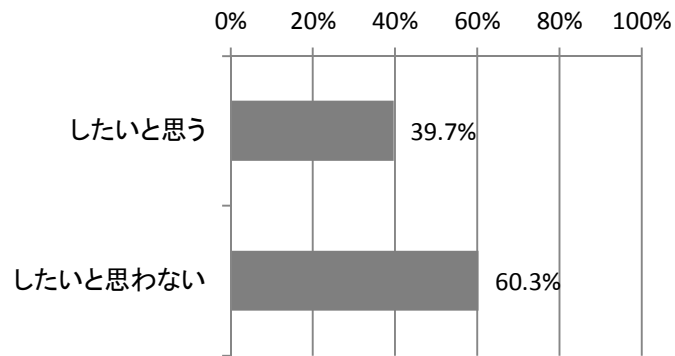
[5] 海上公園の利用の仕方

■問 あなたは、今後、海上公園でどのようなことをしてみたいと思いますか。
次の中からいくつでも選んでください。 (複数選択可) (n=458)



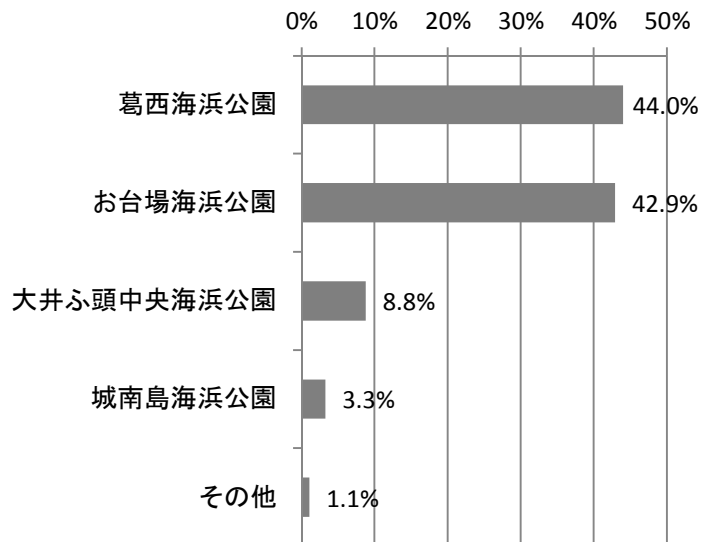
[6] 海水浴利用について

- 問 海上公園の中でも、海浜公園は水に親しむ場所として人工海浜を整備しています。現状では水浴場水質判定基準を満たさない日があることから、海水浴（顔をつけて海で泳ぐこと）はできませんが、将来あなたは海浜公園で海水浴をしたいと思いませんか。 (n=458)



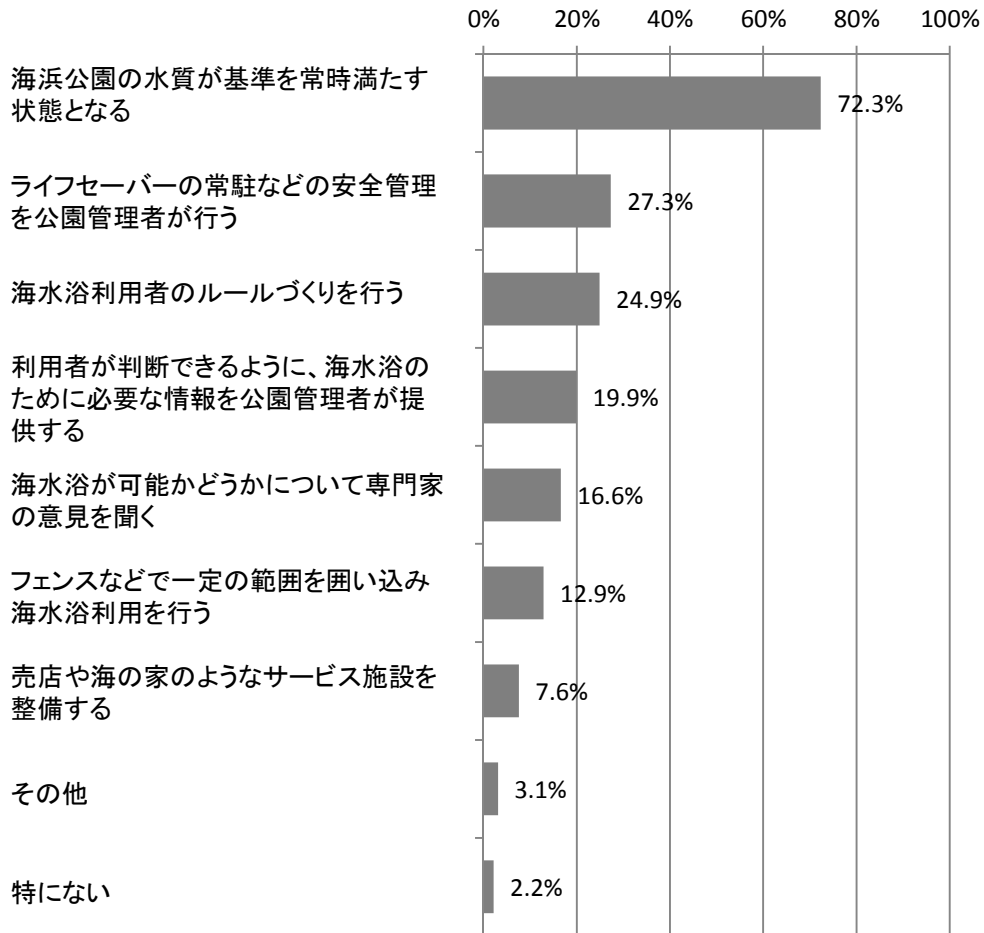
[7] 泳ぎたい海浜公園

- 問 (前問で「したいと思う」と答えた方に伺います。) 海水浴をするとしたら、あなたはどの海浜公園で泳ぎたいと思いませんか。次の中から1つだけ選んでください。 (n=458)



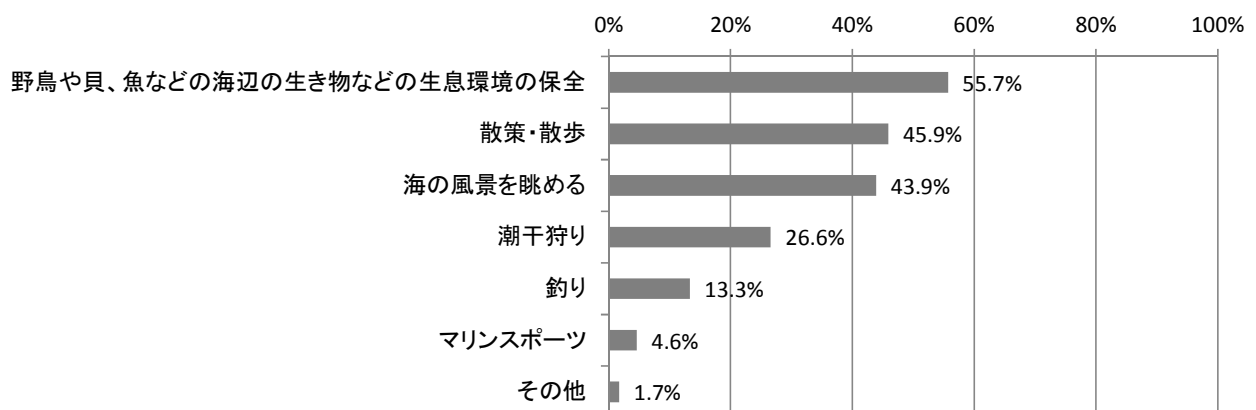
[8] 今後海水浴をするために重要だと思うこと

- 問 海浜公園では、海水浴の可否の判断材料として水質を調査しています。現状では水浴場水質判定基準を満たさない日があることから、海水浴はできませんが、今後海水浴をするために、重要だと思うことを次の中から2つまで選んでください。(2つまで選択可) (n=458)



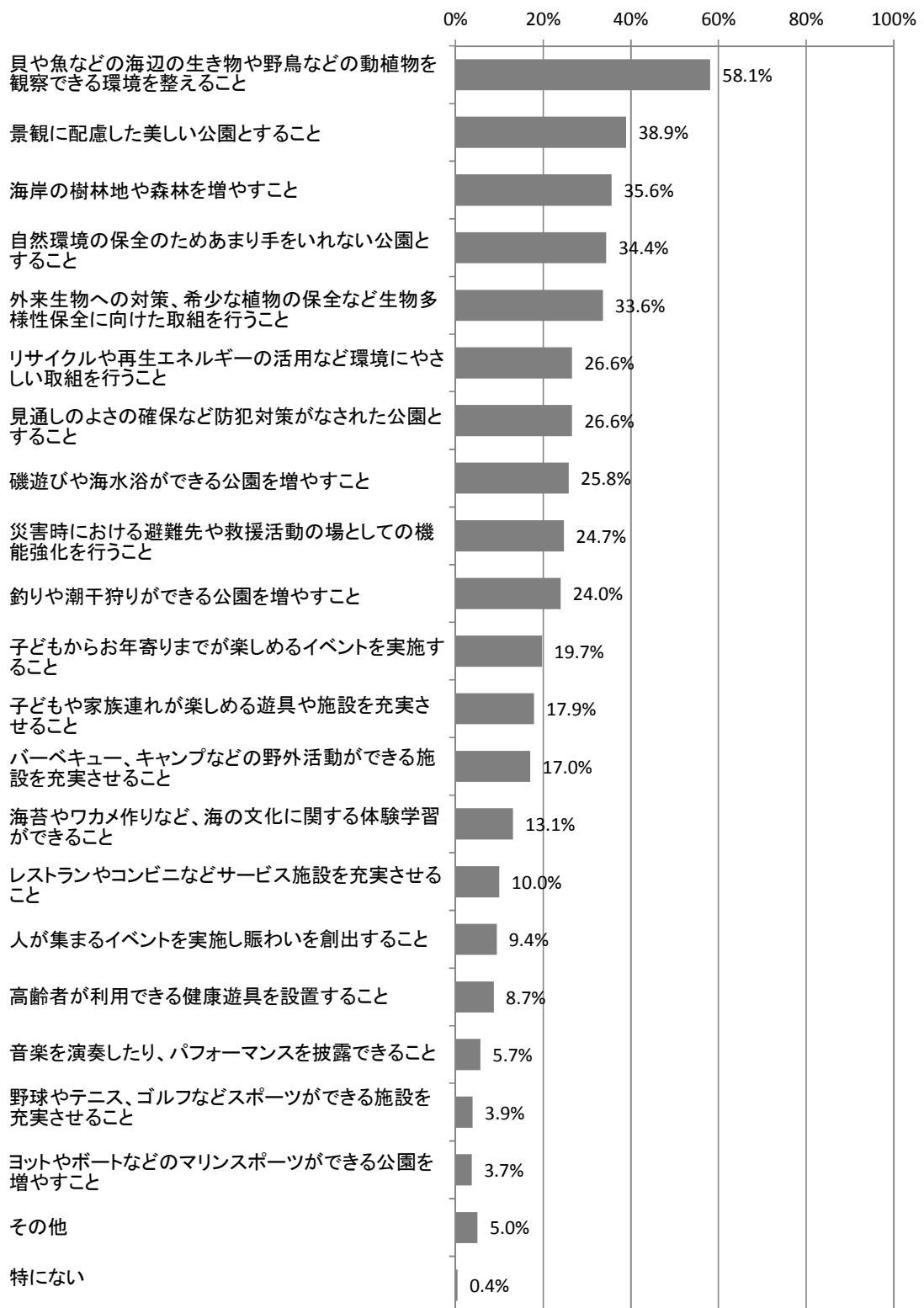
[9] 海水浴以外での海浜公園の利用

- 問 海浜公園の利用について、海水浴以外で期待することを、次の中から2つまで選んでください。(2つまで選択可) (n=458)



[10] 海水浴以外での海浜公園の利用

■問 望ましい海上公園とするために、今後東京都に力を入れてほしいことは何ですか。次の中から5つまで選んでください。(5つまで選択可)(n=458)



4 意見募集結果

(1) 意見募集の概要

①実施方法

【募集期間】

- ・平成28年2月5日（金曜日）から平成28年2月18日（木曜日）まで

【広報手段】

- ・東京都港湾局ホームページへの掲載
- ・都民情報ルーム及び港湾局情報提供コーナーへの冊子設置
- ・主要海上公園での概要版配布

【募集方法】

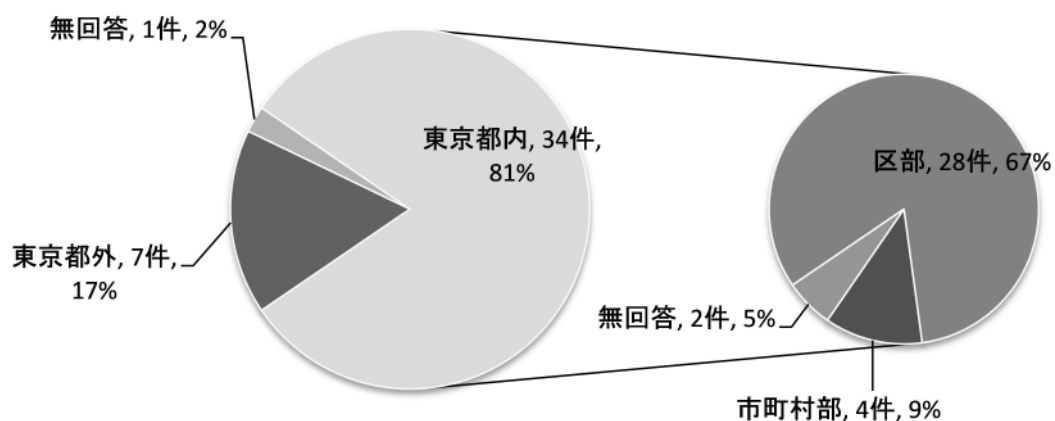
- ・ファクシミリ
- ・電子メール

②件数

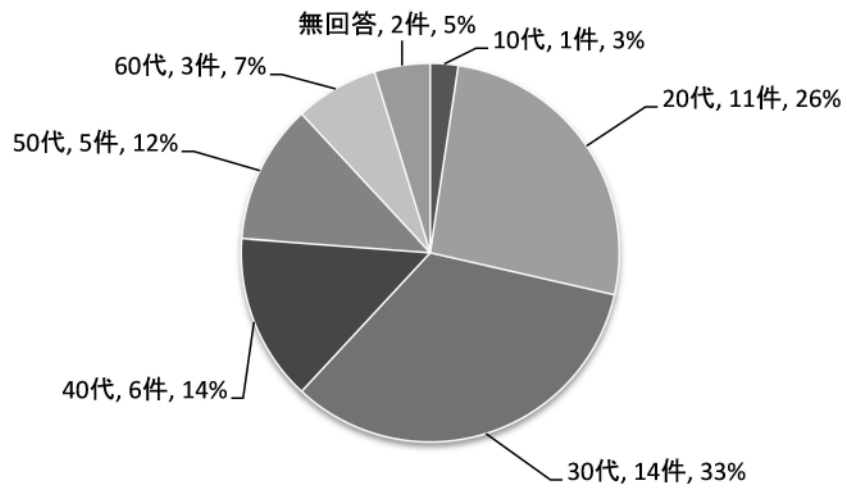
- ・計42件
(うち、ファクシミリ2件、電子メール40件)

③回答者属性

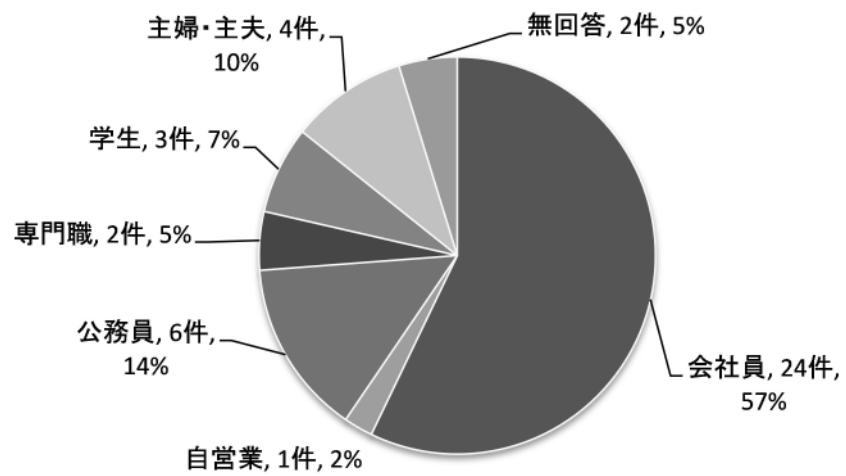
【居住地】



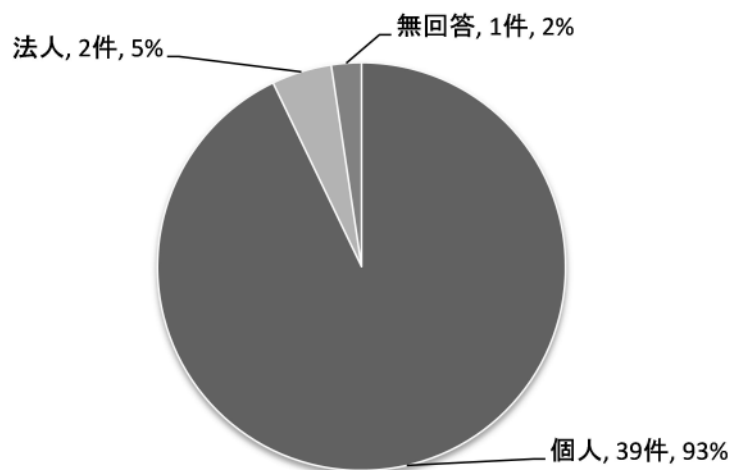
【年代】



【職業】



【意見の主体】



(2) 意見募集に寄せられた主な意見

①第1章 臨海地域の水と緑のあり方(2件)

項目	意見要旨	対応
基本理念	公園がまちの主役となる『公園都市』が実現されると、臨海地域の魅力がさらに向上する。	ご意見は、今後の検討課題として参考にさせていただきます。
エリア及び軸の設定	新木場から若洲にいたる海岸線を自然軸及び景観軸に位置づけてほしい。	

②第2章 海上公園のあり方

[1] 魅力的な水と緑のネットワークを構築する(15件)

項目	意見要旨	対応
海上公園を核とした水と緑の効果的再編	大規模な海浜公園等はレクリエーションや景観形成に効果を発揮し、都民から親しまれている。	社会状況の変化にあわせ、効果的にオープンスペースを配置し、地域特性に応じた良好な環境を形成することとしています。
	ふ頭公園の位置づけについて根本的に見直してほしい。	
	公園ごとの特徴的な植栽やビューポイントの設置等により、緑道公園の魅力を向上させてほしい。	
	立地や個性を生かした特徴ある公園づくりがされている一方、小さな公園では管理が不足している。	
水辺・緑地空間の整備・活性化に向けた方向性	しまなみ海道のようなイメージのサイクリングロードがあると楽しいと思う。	サイクリングルートの整備、夜間照明の充実によるランニング空間の改善、休憩をとることが出来るカフェの設置などにより、臨海地域を快適に周遊できる取組を進めていきます。
	海沿いをサイクリングをするときに休憩できる海上公園や風景が綺麗なサイクリングコースを整備してほしい。	
	サイクリングの際、自転車を水上バス、ゆりかもめ、バスなどに乗せて移動できたら、より行動範囲が広がって良い。	
	サイクリングコースがあるのであれば、公園内をスムーズに移動できるように、レンタサイクルなどがあると良い。	
	公園内の自転車置き場はチェーンで自転車を停めることができないところもあり不便。	
東京湾の夜景が綺麗だが公園は暗い。公園灯や樹林地管理を検討してほしい。		
海を感じさせる空間づくり	自然環境の充実は子どもたちの未来を考えるうえでとても大事。	近自然護岸や砂浜の拡充により、子どもたちが安全に海にふれあうことが出来る環境づくりを進めます。
	晴海に自然を身近に触れられる場所を整備してもらいたい。	

	埠頭周辺は殺伐としていて海辺に気軽に近づける雰囲気ではない。	海上公園において、海を身近に感じることが出来る空間を創出することとしています。
	海上ボートや子どもが遊べる噴水など、水を感じさせる「海上公園」らしいものができるとう家族連れが増えると思う。	
	葛西海浜公園の導流堤に遊歩道の整備してほしい。	

[2] 生物多様性保全を推進する（11件）

項目	意見要旨	対応
生物多様性 保全の 仕組みづくり	特に「生物多様性を推進する」項に共感する。具体的に民間活用や市民協働などを推進してほしい。	「海上公園生物多様性保全計画（仮称）」策定の際、ご意見を検討課題として参考にさせていただきます。
	自然環境の質の向上においては自然に関する文化の存続や復活が必要かと思われる。	
	浅場や生物にやさしい護岸整備をして、定期的、持続的な水生生物などのモニタリングを行い、その結果を周知してほしい。	自然再生の実態や事業効果を把握するために定期的なモニタリングを実施することとしています。結果の周知について、ご意見を参考にさせていただきます。
	緑地が将来、森になるような、時代の移り変わりが分かるようにしてほしい。	ご意見は、今後の検討課題として参考にさせていただきます。
生き物の 生息空間の 保全・創出	干潟など、貴重な自然環境の保全と充実をしてほしい。	生物多様性保全の拠点の創出や生物の移動経路となる環境の拡充を通し、取組を進めていくこととしています。
	多種多様な生物が生息できる環境を整備してほしい。特に海辺特有の干潟の創出を期待する。	
	環境や生物にやさしい取り組みをもっと推進してほしい。	
	葛西海浜公園に海と緑を創出する工夫をしてほしい。砂浜をもっと整備してほしい。	
	海浜公園に適した草地・植木等の緑地を拡大してほしい。	
	海水を更に浄化し、海と親しみやすい環境を整えてほしい。	ご意見は、今後の検討課題として参考にさせていただきます。
生物多様性等を考えるとときには水質の改善も重要だと思うが、具体的な検討はしているのか。		

[3] 環境負荷低減を進める（2件）

項目	意見要旨	対応
環境配慮型公園の推進	樹木の伐採後はベンチやテーブルに活用してはどうか。	ご意見は、今後の検討課題として参考にさせていただきます。
都市の環境負荷低減	再生可能エネルギーの利用や資源循環など、環境負荷の低いトイレの導入を提案する。	

[4] 歴史や文化を感じさせる美しい景観を形成する（8件）

項目	意見要旨	対応
江戸前海を 偲ばせる 景観づくり	海沿いの眺望、野鳥などの自然、江戸から続く歴史・文化などを資産として公園づくりに生かし、週末に遊びに行きたくなるような公園づくりを目指してほしい。	地域の歴史を重視し、周辺地域と連携を図りながら歴史・文化を感じることが出来る景観づくりを進めていくこととしています。
	海水浴場の整備や将来の方向性について、どのような考えを持っているのか。	
新たな 東京港を 象徴する 景観づくり	季節にあわせた花が大量に咲くと良い。花の終わりの時期には花摘みができると楽しそう。	ランドマークの創出や花木による季節感の演出を通し、新たな時代の東京港のシンボルとなる景観づくりに取り組むこととしています。
	季節ごとの植樹、常に見どころが絶えない環境整備、冬は足湯・夏は水遊びなど、親しみが持てる環境があれば面白い。	
	ランドマークとして、オリンピックの会場整備工事などで発生した建設廃材や残土で、大きくて高い見晴らし台を整備してほしい。	
港の景観を 体感できる 視点場づくり	日本らしさや歴史にとらわれず、新しい文化を発信するような斬新な整備を望む。	ご意見は、今後の検討課題として参考にさせていただきます。
	臨海地域の公園は、市街地の公園と異なり、非日常的な時間を過ごせることが魅力。 城南島海浜公園は、緑と海と飛行機の調和がとれていて非常に心地よい。	

[5] 災害に強いまちづくりを進める（5件）

項目	意見要旨	対応
来園者・周辺 住民 ・就労者の安 全確保	大地震や大津波の時、どこへ避難するのかわからない。液状化対策はどのようにするのか。	「東京都地域防災計画」に則り、来園者等の安全確保、救援活動の拠点などの役割を果たしていきます。
	災害対策は、特に液状化現象が起きないように地盤対策に力を入れてほしい。	
救援活動の 拠点整備	防災拠点としての有効活用を期待する。	
	防災と利便性の観点から、移動ルート(陸・海)を明確にし、各エリアごとの連携について具体案があると良い。 震災対策で水路の活用を具体的に検討することが重要だと思う。	

[6] 民間の活力を活用する（5件）

項目	意見要旨	対応
全般	民間事業者等と積極的に連携を図り、東京都には事業全体の“先導”と粘り強い“継続”を期待する。	ご意見は、今後の検討課題として参考にさせていただきます。
民間による公園施設の設置・運営	サイクリングの休憩地点として立ち寄れるようなおしゃれなカフェ、ドリンクスタンドがある海上公園を整備してほしい。	臨海地域の立地特性を活かしたカフェやレストランなど、独自性が高い公園施設を民間事業者等が設置し、海上公園の価値を高めていくこととしています。
	走っていて休めるところが少ない。カフェや憩えるスペースがあると嬉しい。	
	近くに売店やコンビニもないので、園内にカフェなどを作っていただけるとありがたい。	
	もっと売店を作って欲しい。	

[7] 市民協働を活性化させる（2件）

項目	意見要旨	対応
公園づくりにおけるプロセスの重視	公園整備と同時に人づくり、コミュニティ作りへの支援を同時に行い、市民主体による持続的な公園維持管理体制を構築することが重要。	プロセスを重視しながら公園づくりを進めることとしています。
市民活動の継続的な支援	晴海で多様な人々の繋がりを作るきっかけとして、水辺の環境を守り、育てるボランティア活動を推進してほしい。	活動の場の提供やコミュニティづくりを通し、継続的な支援を行っていきます。

[8] 多様な文化、人々が交流する賑わいをつくる（36件）

項目	意見要旨	対応
全般	晴海ふ頭公園は一等地にあるため、観光客にも利用してもらえるようなホテルやガーデンレストラン等にしてはどうか。	ご意見は、今後の検討課題として参考にさせていただきます。
	新たな東京湾を象徴する景観づくりと多彩なイベントを展開できるスペースとして世界最大規模の噴水とウォータースクリーンを活用した海上のイベントスペースを提案する。	
	日本ならではの歴史を感じることができるエリアと、海外の歴史を感じることができるエリアが共存できれば、海外旅行者と国内旅行者ともに、違いを感じることができ、飲食店の展開もできれば両者の交流の場にもなる。	
	スポーツカイトやスケボー、バドミントン、つり道具等々を貸してくれるサービスが欲しい。	
	フットサルなどスポーツが出来る公園を作りたい。	

	芝生を整備したり、子どもの発想で遊べる遊具があるといい。	
	ミニ潮干狩り、釣り堀などのプチ体験ができれば老若男女問わず楽しめる。	
規制緩和による賑わい空間の創出	公園は出来ないことが多い印象があるので、もっと自由に楽しい公園になればいいと思う。	規制緩和等により、公園利用の新たな可能性を引き出し、賑わいある空間を創出していきます。
	夏に公園で花火ができる場所を作ってほしい。	
	花火ができる公園がないので、条件付きでも花火解禁してもらえると嬉しい。	
	賑わいを作るために、カフェの設置、大道芸やアーティスト、楽団などへの積極的な開放、それらのアピールをしてほしい。	
	海外の公園は大道芸人やオーケストラ、有名なアイスクリーム屋の出店などとても賑わいがある。	
誰もが利用しやすい海上公園	男女トイレ、誰でもトイレを充実させてほしい。	ユニバーサルデザインによる公園づくりを推進しながら、誰もが利用しやすい環境を整備することとしています。
	葛西海浜公園の海水浴の際に、トイレ・更衣室・シャワー・足洗い場が少なく、不便であった。	
	自然環境は素晴らしいのですが、トイレ等の設備をもっと充実させてほしい。	
	葛西海浜公園のトイレが古く、案内所の景観が良くない。	
	子供が遊んでいる際、休憩できる屋根付きの休憩所を整備してほしい。	
	木のベンチや暗い色のベンチは汚い感じがする。夏は虫がいても気づかず嫌な思いをする。	
	緑を増やし、夏の暑い時期も子どもと遊べる公園があると嬉しい。	
	もっと、日陰が欲しい。	
	公園で休憩したい時に汚くならず海辺で寝そべることができるスペースがあると嬉しい。	
	夏場に足洗い場を充実させてほしい。	
	スペース的な制約はないと思うので、子供から大人、高齢者に至るまで様々な立場の人々からのニーズを考慮して、創意工夫を活かした製品や環境デザインとしてほしい。	
	子どもをどこで遊ばせるか、いつも考えてしまう。安全に、安心して遊べる海辺があるとよい。	
防犯や美化活動などについても検討してほしい。		

	東京 2020 オリンピック・パラリンピックを見据え、海外の観光客に対して看板等を設置し、マナー向上を促進することも必要。	
	水上からの交通の充実が必要。	
	城南島海浜公園はアクティビティが充実している非常に良い公園だと思うが、アクセスが非常に悪い。良い公園なのにもったいない。	路線バス延伸の検討や、棧橋設置による交通手段の拡充、安全な歩行路の確保等により、交通アクセシビリティを向上していくこととしています。
	最寄駅から交通の便が悪すぎて、祝日・休日にはなかなか利用できない。	
	臨海副都心はなかなか行きにくいのが残念なので、もっとアクセスを良くしてほしい。	
	アクセス改善や歩行者・自動車の安全な共存体制について検討してほしい。	
	どのような利用ができるのか、利用者メリットなど広報活動に力を入れてほしい。	
海上公園のイメージ強化・周辺の情報発信	海外旅行の際、賑わいのある公園は非常に印象深く残る。賑わいのある公園は SNS でも取り上げられる。	印象的な港湾景観や生き物で賑わう海辺の様子等について効果的に PR を展開し、非日常的な体験が出来る海上公園のイメージの強化を図ります。
	知れば行ってみたいと思う素敵な公園があるので、もっと宣伝して観光や憩いのスポットにした方がよいと感じる。	
	城南島の公園はスケートパークやバーベキュー、キャンプ、ドッグランができたりと非常に良い公園なのに知名度が低い。もっと周知した方がいい。	
	野鳥公園に鳥獣保護区の看板を立てるなどしてほしい。素晴らしい環境ということをアピールできると良い。	

[9] 選手村・競技会場の整備やそのレガシーと連携する（4件）

項目	意見要旨	対応
全般	オリンピック後には、このエリアの利便性・魅力が増すはずなので何時訪れても、訪れた人たちが満足できる「水と緑」の融合した公園整備を期待する。	施設の後利用との一体性を考慮し、魅力のある空間を形成していくこととしています。
	オリンピック、パラリンピックに向けての整備も、終わった後の活用方法をしっかり見据えてほしい。	
	オリンピックの会場整備では、将来は歴史的建造物になるような建物にしてほしい。	ご意見は、今後の検討課題として参考にさせていただきます。
	海の森は緑豊かな森があるということが最大の価値だと思うので、オリンピック開催の混乱に乗じて人工的なものをたくさんつくることは避けてほしい。	

[10] レガシーを活用し回遊性の向上を図る（2件）

項目	意見要旨	対応
全般	2020年のオリンピック・パラリンピック大会に向けて交通網をはじめ様々なインフラ整備が進むと聞いている。その中で、周囲との調和や連携を深め、海上公園の価値が一層高まっていくことを願う。	東京 2020 大会開催を契機に構築される交通ネットワークと連携を図ることとしています。
	公園本丸の魅力向上はもとより、公園を基点とした交通網の充実を図るなど、ランドマークとなり得る公園の持つポテンシャルに更なる付加価値が付与されることを期待する。	

③第3章 環境整備・誘導の方向性（2件）




項目	意見要旨	対応
全般	倉庫群やコンテナも見せ方次第では魅力的な観光資源になると思うので、公園づくりがそのきっかけとなるとよい。	区や民間事業者等との連携を強化し、臨海地域全体の魅力の向上を目指し整備・誘導を図ることとしています。
	準工業地域などの都市計画法の用途地域と今回の方向性の整合をとることはできるのか。	

④その他（2件）

項目	意見要旨	対応
全般	題名から検討内容を連想できなかった。	ご意見は、今後の検討課題として参考にさせていただきます。
	家族友人と暖かい時間を過ごせる、魅力のある海上公園づくりを期待する。	

5 審議会関係資料

◆諮問文（写し）

 	26港臨公第174号 東京都港湾審議会
東京都港湾審議会条例（昭和28年東京都条例第75号）第2条第5号の規定に基づき、 下記事項について諮問する。	
平成27年1月23日	東京都知事 舩添要一 
記	
1 新たな時代の「海上公園ビジョン（仮称）」の検討について	

6 用語集

語句	解説
BRT	Bus Rapid Transit の略で、接続バスの採用や専用走行空間の整備等により、路面電車と比較して遜色のない輸送力と機能を有するバスシステム。通常の路線バスと比べると、定時性に優れ、より多くの輸送量を確保できるのが特徴。
MICE (まいす)	企業等の会議 (Meeting)、企業等の報奨・研修旅行 (Incentive Travel)、国際機関等が行う国際会議 (Convention)、イベントや展示会等 (Event/Exhibition) の総称。臨海副都心は、日本の代表的な MICE・国際観光拠点の一つとして機能している。
PFI	Private Finance Initiative の略で、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法。民間事業者が有するノウハウの活用により、事業全体の効率的なリスク管理や事業コストの削減、サービスの向上が期待できる。
浅場	干潟に続く、水深が概ね 5m 程度までの浅い海。陽光が海底まで到達することから、豊かな生態系が形成される。これらは海域浄化にも寄与している。
海の森	中央防波堤内側埋立地に計画されている海上公園 (未開園)。「資源循環型の森づくり」と「市民参加による協働の森づくり」がコンセプトであり、スタジイやタブノキ等の苗木が約 48 万本植樹されるなど、ごみと建設発生土による埋立地が美しい森に生まれ変わりつつある。
海の森倶楽部	企業、NPO、学校等が会員となり、海の森におけるイベント等の企画を行う仕組み。魅力的なイベント等を通し、広く国内外に海の森に関する情報を発信する。
ウラギク	海岸や塩分のある湿地に生育するキク科の二年草。東京都レッドデータブックでは、区部において、「IA 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの」である絶滅危惧 IB 類として指定されている。
運河ルネサンス	東京の水辺の魅力の向上や観光振興に資するため、運河等の水域利用とその周辺におけるまちづくりが一体となって、地域の賑わいや魅力を創出することを目的とした取組。東京都では「水域占用許可」の規制緩和やイベントの後援等により支援を行っている。
江戸前	江戸の近海。また、そこで取れる魚介類。元々、江戸城の前にある海を指す言葉であったものが、次第に江戸の近海で取れる魚介類も「江戸前」と称するようになった。
大型クルーズ客船ふ頭	青海コンテナふ頭北側水域に整備が予定されている新客船ふ頭。大型クルーズ客船の発着や 2 隻以上の同時着岸への対応が計画されている。
オープンスペース	敷地のうち建築物が建てられていない空地 (くうち) のこと。広義では、公園緑地や河川敷、街路などの都市における空地部分を総称する。
汚泥しゅんせつ	水底の汚泥を取り除くこと。運河部等に堆積された有機物を多量に含有するヘドロを汚泥といい、悪臭や水質汚濁を原因として除去対象となっている。
海上公園	東京都の埋立地に設置された臨海部の特徴を生かした公園で、都市公園法に基づく都市公園とは異なる法体制によって港湾局が整備・管理している公園。海浜公園、ふ頭公園、緑道公園の 3 種類がある。

語句	解説
海上公園 防災整備計画	平成 26 年 3 月に東京都港湾局が策定した、海上公園の役割を整理し、計画的に防災機能の整備・改修をしていくための計画。これに基づき、概ね 10 年以内に、来園者が災害時に安全に避難するために必要な整備・改修を進めていく予定となっている。
海上公園を中心とした水と緑のあり方検討部会	平成 27 年 1 月に開催した第 89 回港湾審議会における「新たな時代の『海上公園ビジョン（仮称）』の検討について」の諮問を受けて設置された専門部会。
緩傾斜護岸 （かんけいしゃごがん）	護岸の構造形式の一つで、表法を緩やかな勾配としたもの。大地震に対し安全度が高く、また、人工なぎさとなり、水質など自然環境の保全と回復に役立つ。陸域部の緑化が容易で、緑地、遊歩道として利用できることから、水際を開放し、水と親しむ施設を整備することができる。
ガントリー クレーン	コンテナ船のコンテナ積み降ろしのために用いるよう設計されたクレーン。コンテナ・バースに設置され、係留施設背後地に敷設されたレールの上を本船に平行に移動して荷役をする。
旧防波堤	台場から東雲にかけて見られる総延長 2,950m の構造物。戦前に建造され、埋立開発が進行する以前は波浪からふ頭等を守る機能を果たしていた。現在は東京港の歴史的構造物として保全されており、お台場海浜公園や有明親水海浜公園から確認することが出来る。
旧臨港鉄道橋	晴海・豊洲間に架かる旧臨港鉄道（晴海線）の鉄道橋（廃橋）。臨港鉄道は、東京港の貨物輸送を担ってきたが、モータリゼーションの進展や高速道路等の充実により平成 2 年の晴海線の廃止をもって全廃となった。
近自然型	自然生態系への配慮を基本とする考え方。近自然型の護岸は、治水上の安全性を確保しながら、生物の生育・生息環境の保全・復元等を目標とする整備形式であり、緩傾斜護岸はその一形態。
建設発生土	建設工事に伴い副次的に発生する土砂。「再生資源の利用の促進に関する基本方針（リサイクル法）」上の用語であり、廃棄物処理法上の廃棄物ではなく、再生資源として位置づけられる。
建ぺい率	敷地面積に対する建築面積の割合。海上公園においては、海上公園条例により、建築物の建築面積の総計は、海上公園の敷地面積の 7/100 以下と定められている（一部例外を除く）。
コアジサシ	日本に夏鳥として渡来し、河川や海岸でコロニーを作り集団繁殖する小型の鳥。絶滅が危惧されており、東京都レッドデータブックでは、北多摩において、「ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの」である絶滅危惧 IA 類として、区部等、都内他地域においても絶滅危惧 IB 類として指定されている。
港湾区域	営造物としての港湾を管理運営するために必要最小限度の区域について、国土交通大臣又は都道府県知事が港湾管理者となるべき関係地方公共団体に対して許可した水域であり、港湾管理者が港湾法により管理権を行使する区域。
再生可能 エネルギー	石油・石炭などの化石燃料と異なり、一度利用しても比較的短期間に再生が可能で、資源が枯渇しないエネルギー。エネルギー供給構造高度化法では、太陽光、風力、水力、地熱、太陽熱、大気中の熱その他の自然界に存する熱、バイオマスが「再生可能エネルギー」として規定されている。
三枚洲	東京湾に注ぐ荒川と旧江戸川の延長線上に囲まれた自然干潟。葛西海浜公園の沖合に広がっている。

語 句	解 説
シギ・チドリ類	主にシギ科とチドリ科の鳥類を示す総称。海辺や川岸などの水辺環境に生息する。多国間にまたがり季節移動し、繁殖地と越冬地との移動途中に日本に飛来する種も多い。
仔魚（しぎよ）	魚類の幼生。一般的には、魚類が孵化してから、全てのひれが整うまでの段階を仔魚とみなすことが多い。
指定管理者制度	平成 15 年 9 月の地方自治法の一部改正により導入された制度。それまで公共団体や都の出資法人等のみが管理できることとされていた「公の施設」の管理を、広く民間の団体に行わせることが可能となった。住民ニーズへのより効果的・効率的な対応、住民サービスの向上、経費の節減等を目的としている。全海上公園においては、平成 18 年度より導入された。
首都直下地震等による東京の被害想定	東日本大震災を踏まえ、都が平成 24 年 4 月に取りまとめた報告書。平成 18 年 5 月に公表した「首都直下地震による東京の被害想定」について全面的に見直しを行った。この報告書を踏まえて地域防災計画の修正を行い、東京の防災力の高度化が図られた。
循環型社会	製品等が廃棄物等となることが抑制され、並びに製品等が循環資源となった場合においてはこれについて適正に循環的な利用が行われることが促進され、及び循環的な利用が行われない循環資源については適正な処分が確保され、もって天然資源の消費を抑制し、環境への負荷ができる限り低減される社会。
スマートエネルギー	無理のない「賢い節電」を土台として、低炭素・快適性・防災力の3つを同時に実現する都市のエネルギー利用の将来像をスマートエネルギー都市という。「東京都省エネ・エネルギーマネジメント推進方針」（2012年5月環境局）にて示された。
生物多様性	様々な自然環境とそこに生息する特有の個性を持つ生物、そしてそれぞれのつながりを示す総称。人間が享受している自然の恵みは、生物多様性のバランスのもとに成立している。生物多様性条約では、生態系の多様性、種の多様性、遺伝子の多様性という3つのレベルで多様性があるとされている。
選手村	オリンピック・パラリンピックにおいて選手等が宿泊する施設。2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会では、中央区晴海に整備され、大会後は住宅棟として生まれ変わる計画となっている。
剪定枝葉	公園の樹木や街路樹などの管理に伴い発生する枝葉の切りくず。
台場	幕末にアメリカのペリー提督率いる黒船が来航したことを契機に、幕府が江戸防衛のために品川沖海上に築いた砲台又はその跡地。東京港の整備にあたり二基を残し撤去されたが、第三台場は、都市公園として現在も残されており、お台場海浜公園と陸続きになっている。
東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会	2020年に東京で開催されるオリンピック・パラリンピック競技大会。正式名称は、第32回オリンピック競技大会（2020／東京）及び東京2020パラリンピック競技大会。多くの競技会場が、臨海地域に計画されている。また、東京は、世界で初めて2回目のパラリンピックを開催する都市となる。
東京都海上公園構想	都民に海を取り戻す思想を実現するため、海上公園の整備に向けて取りまとめた構想。昭和45年12月に策定された。
東京都海上公園条例	東京都海上公園の設置及び管理運営に関する条例。海上公園を地方自治法を根拠とした公の施設として位置づけ、その適正かつ統一的な管理を行うために制定した。海上公園構想に基づき、昭和50年に制定された。

語 句	解 説
東京都 地域防災計画	災害対策基本法の規定に基づき、東京都防災会議が策定する計画。都、区市町村、指定地方行政機関、自衛隊、指定公共機関、指定地方公共機関等の防災機関がその有する全機能を有効に発揮して、都の地域における地震災害の予防、応急対策及び復旧・復興対策を実施することにより、住民の生命、身体及び財産を保護することを目的としている。
東京都防災会議	災害対策基本法及び東京都防災会議条例に基づき設置される知事の付属機関。知事を会長とし、指定地方行政機関、指定公共機関、指定地方公共機関、都及び区市町村等の職員もしくは代表で構成されており、東京都地域防災計画の作成（修正）及びその実施の推進等を所掌している。
荷役（にやく・にえき）	運輸業の主な作業の一つで、トラック、貨車、船舶、航空機といった輸送機器への貨物の運搬、仕分け、積み込みや荷降ろし、倉庫、ヤードへの入庫、出庫等の、物流過程における貨物の取扱いに関する作業全般の総称。
ネーミング ライツ	公共施設等の施設にスポンサー企業の社名やブランド名等の名称を付与する権利（施設命名権）。施設所有者は、命名権を企業などに売ることにより施設の運営維持費の一部を得ることができる。購入した企業は、社名や製品名を施設の名称にして広告効果を狙う。
バイオマス エネルギー	動植物など、再生可能な有機性資源を原料とするエネルギーのこと。
ヒート アイランド現象	郊外に比べ、都市部ほど気温が高くなる現象。緑地や水面の減少、アスファルトやコンクリートに覆われた地面の増大、自動車や建物などから出される熱の増大、ビルの密集による風通しの悪化等が原因とされている。
東アジア・オース トラリア地域フ ライウェイ・パー トナーシップ	東アジア・オーストラリア地域において、渡り鳥にとって重要な生息地の保全を進めるための国際連携協力事業。関係国の政府機関、関係条約事務局、国際 NGO 等が参加しており、渡り性水鳥の重要生息地ネットワークの構築、普及啓発及び保全活動の促進等を行っている。
干潟	沿岸域に見られる、潮の干満により干上がったたり水没したりする砂や泥などでできた環境。浅場と同様に豊かな生態系を有し、海域浄化に寄与している。
覆砂（ふくさ）	海底の汚泥を清浄な砂等で被覆する技術。底質そのものを改善するとともに、汚泥を封じ込めて海水と汚泥の直接的な接触を妨げることができ、汚泥から海水中への栄養塩の溶出や、底層付近の溶存酸素の消費を抑制する。
ユニバーサルデ ザイン	年齢、性別、国籍、個人の能力に関わらず、はじめからできるだけ多くの人が利用可能なように、都市や環境をデザインすること。
臨港道路	港湾の管理上必要な施設として整備し管理する道路。港湾法の臨港交通施設に位置づけられる港湾施設（道路法上の道路ではない）で、東京都港湾管理条例に基づき告示されたものを示す。
レガシー	オリンピック・パラリンピック競技大会等の開催により開催都市や開催国が、長期にわたり継承・享受できる、大会の社会的・経済的・文化的恩恵のこと。

